

通常の授業スタイルが可能になりました！

今まで、上海日本人学校では定員の半分の数の先生しかおらず、一人で同時に複数の学級を担当しないと授業ができませんでした。そのため、生徒も先生も学校へ登校しているものの、オンライン授業で学習するという環境でした。

9月から日本から中国への入国に関わるビザ(入国査証:外国に入るときに、その国から出される「入国していいですよ」という許可)の発行の制限が緩和されたことにより、4月に赴任予定だった先生方が2週間の施設隔離を終えて、ようやく10月から上海日本人学校への勤務が始まりました。予定されていた先生方が勤務できることにより、オンライン授業から1人の先生が1つの学級の授業を行う対面授業(通常の授業スタイル)が可能になりました。画面越しでなく、先生と生徒がお互い目の前にいる喜びと楽しさを実感しながら、授業が行われています。

しかし、新型コロナウイルス感染予防対策は厳しく続いています。一日が終わると毎日、学校に業者の消毒が入るため、学習道具や内履きも含めた私物を学校に置いて帰ってはいけない状況や、生徒や職員以外は保護者も含め校内に入校できない状況などは変わりません。その中で、ビザの緩和により、日本に足止めされていた生徒も、上海へどんどん戻ってきています。上海日本人学校も、生徒も先生も人数が増え、活気があふれてきています。

